

羽島市立桑原学園で防災講座を行いました

令和4年8月24日（水）、羽島市立桑原学園で7年生15名に防災講座を行いました。桑原学園は小中一貫校です。学校は、木曾川と長良川に挟まれており、横には桑原川が流れています。学校のグラウンドには、昭和51年の9.12豪雨の浸水深を表す表示板も建てられており、水害リスクの高い地域です。

講座では、各自がタブレットにより、当協会制作のデジタル展示館で過去に発生した水害について学習し、VRで浸水を疑似体験しました。また、「大雨にソナエルピクト」などを活用した防災クイズで、避難や水害への備えについて学びました。講座の最後には、生徒さんから「非常食の準備やハザードマップの確認をしたい」「家族と話し合ったことがないので、話し合いたい」といった感想を頂きました。

今回の防災講座が、生徒の防災意識向上に繋がり、将来「守られる人から守る人」になって頂けることを期待しています。

なお、講座の様子は、中日新聞に掲載頂くとともに、ケーブルテレビCCNで地域に配信されました。ケーブルテレビの映像は YouTube でも公開されています。 [HTTPS://WWW.CCN-CATV.CO.JP/CH/LINEUP/AREA-TOPICS/INDEX.PHP](https://www.ccn-catv.co.jp/ch/lineup/area-topics/index.php)

